

題名	あま市児童館運営委員会	
日時	令和2年2月19日(水) 午前9時	
場所	あま市役所甚目寺庁舎 2階 第1会議室	
	民生委員児童委員協議会長	井村 なを子
	七宝地区主任児童委員代表	小串 由里子
	美和地区主任児童委員代表	岡田 真由美
	甚目寺地区主任児童委員代表	渡邊 泰江
	教育委員会 委員代表	堀江 徹二郎
	あま市小中学校長会長(美和中学校長)	石村 眞一郎
	あま市小中学校長副会長(甚目寺東小学校長)	長谷川 孝臣
	木田幼稚園 理事長	長澤 弘宣
	美和こども園長	吉田 龍宏
欠席委員	子ども会連絡協議会長	小林 直也
	小中学校PTA連絡協議会長(甚目寺東小学校PTA会長)	村瀬 一生
事務局	市長	村上 浩司
	福祉部長	木下 晶代
	子育て支援課長	樋口 誠史
	子育て支援課主幹兼甚目寺西児童館長兼甚目寺中央児童館長	林 一史
	甚目寺北児童館長兼七宝児童館長	浅岡 久美
	甚目寺南児童館長兼美和児童館長	深見 訓英
	美和児童館厚生員	伊藤 千恵
	甚目寺北児童館主査	花木 逸子
	甚目寺西児童館係長	吉川 洋正
	甚目寺中央児童館厚生員	片岡 高志
	甚目寺中央児童館厚生員	加藤 紀子
	甚目寺南児童館厚生員	中山 由里子
	甚目寺北児童館厚生員	水野 弓子
	甚目寺西児童館厚生員	水野 広美

<p>事務局 (課長)</p>	<p>本日は何かとお忙しい中、ご参集賜わりまして有り難うございます。定刻になりましたので、只今より、令和元年度第2回あま市児童館運営委員会を開催致します。</p> <p>本日、お集まり頂きました皆様方は、お手元に配布致しております、あま市児童館運営委員会規則 第4条 第1号から第3号に掲げてございます関係機関の代表者としてお集まり頂いております。出席委員数は9名でございます。委員会規則 第8条 第2項の規定による定数に達しておりますので、只今より、あま市児童館運営委員会を開会致します。</p> <p>なお、「子ども会連絡協議会長の小林委員、小中学校PTA連絡協議会長の村瀬委員」はご都合により本日の会議を欠席する旨のご連絡いただいておりますので予めご報告させていただきます。</p> <p>会議に入ります前に、本日の資料の確認をさせていただきます。本日の委員会次第、1ページから22ページまでの番号を付した両面印刷の資料、23、24ページはA3の資料、両面印刷のあま市児童館運営委員会規則と児童館だより3月号として各児童館分6枚をお配りしてございます。</p> <p>足りない資料があれば、お申し出ください。</p> <p>なお、本日の会議終了後、会議録を作成しますので録音させていただきます。なお、市の公式ウェブサイトにおきましても会議録を掲載することとなっておりますのでご了承おきください。</p> <p>それでは、市長より、ご挨拶を申し上げます。</p>
<p>市 長</p>	<p>あいさつ</p>
<p>事務局 (課長)</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、井村委員長よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>井村委員長</p>	<p>あいさつ</p>
<p>事務局 (課長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、市長及び井村委員長におかれましては、この後、他の公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。</p>
	<p>(市長・井村委員長退席)</p>

事務局 (課長)	<p>それでは、議事の進行につきましては、井村委員長が会議の議長となっておりますが、他の公務で不在となっておりますので、「あま市児童館運営委員会規則第7条第2項」に基づき副委員長の堀江委員に議長をお願いしたいと思います。堀江委員は議長席にお移りいただくようお願い致します。</p>
堀江副委員長	<p>それではこれより、議事を進めさせていただきますので、ご協力の程、お願い致します。</p> <p>協議事項(1)「令和元年度 事業報告について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (各館長)	<p>七宝児童館「令和元年度 事業報告」について、説明。  美和児童館「令和元年度 事業報告」について、説明。  甚目寺中央児童館「令和元年度 事業報告」について、説明。  甚目寺南児童館「令和元年度 事業報告」について、説明。  甚目寺北児童館「令和元年度 事業報告」について、説明。  甚目寺西児童館「令和元年度 事業報告」について、説明。</p>
堀江副委員長	<p>大学生、高校生、中学生、ボランティアの方も入ったり行事の方をお手伝いしているようですが、これからも続けていくのですか。</p>
事務局 (主幹)	<p>同朋大学との連携事業で以前から児童館でも行っておりました、来年度も同様にご協力してもらおう計画をしています。中学生についても職場体験を通じて、地域の事業にも参加していただければと考えております。</p>
長澤委員	<p>質問よろしいでしょうか。児童館の目的は三つあると思いますが、一つ目は健康推進と情操教育に対するの評価、二つ目は来園が可能な時間に自由に来館できたか、三つ目は様々な体験を踏まえて社会性を養っているか。これらに対するコメントをお願いします。</p>
堀江副委員長	<p>長澤委員からの質問について、事務局の方からお願いします。</p>
事務局	<p>一つ目の健康増進については、各行事の中で自宅ではできない</p>

(浅岡館長)	<p>ような体を使ったものを実施しています。二つ目に関して、来館の制限は特に設けておりません。ただし、幼児だけの来館は控えていただいております。三つ目の社会性につきましては、グループ競技など、異学年で遊ぶことで社会性が育まれると考えております。</p>
堀江副委員長	<p>学校ですと、一つ一つの行事なり事業で目標がありますが、ここに掲げられている行事についてもそれはありますか。</p>
事務局 (浅岡館長)	<p>計画案については、それぞれの児童館で厚生員が計画しておりますが、やはり目標を立てて計画しております。</p>
長澤委員	<p>あま市のホームページにも掲載し、一般市民にも周知されている中で、柱がなんなのかを踏まえて行事計画、行事評価を立てていただくといいと思いますので、ただ楽しいから、興味があるからという理由からだけでなく、本質的な指針を持っていただくの良いのではないかと思います。</p>
堀江副委員長	<p>そうですね。行事を実施するうえで、目標を立て実施してその後評価というところまできて、また次の計画を立てるというサイクルでどの組織も考えられているので、そうしたことをやってみての評価を含めてこういう報告があると、一層話し合いも活発になると思います。他よろしいでしょうか。</p>
吉田委員	<p>それは前回も申し上げたところで、事業報告のときには、事業計画において目標があって、それに対してどう評価するかということであって、事業計画というときに年間行事というのはあくまで添えるだけのもので、本来はそれぞれの児童館でどういうふうなことを、長澤先生がさきほど仰られた、児童館の目的が三つだとするならば、その三つに対してどのようなことを実施するか考えることが本来しかるべきで、一言でいえば児童館は、唯一健全育成事業なので、健全育成のために児童館のこの事業はどういう効果を発揮したのか、どういう理由でこういうふうになっているのか、例えばこの事業以外での来館者数が何人なのか、同じ事業を実施したとき同じ子どもが来ているのが多いのか、違う子どもが来ているのが多いのか。それによっては、広報活動に問題がない</p>

	<p>のか。一年間実施した事業を列挙するのではなく、実施したことに対して目標を達成することができたのか、それに対して課題はなんなのか。次年度以降にはどういったことをしていくのかがあって事業報告がある。それが無いと(2)の事業計画の審議は難しいわけですよ。その課題に対してどういうふうにしたらよいかについて、これだけの委員がいるなかで協議しようがない。例えば今年の事業に対して、来年の事業で大分変わっているものもありますよね。その変わっているものが何で変わっているのか。本来良かったものなら継続してもいいのに、何で変えるのかというのがよく分からない。だから、宜しければ良いということは聞きました。課題は何ですか。本年度実施してきた中で課題は何ですか。教えてください。</p>
堀江副委員長	<p>吉田委員の言われる課題について、事務局の方お願いします。</p>
事務局 (片岡厚生員)	<p>本年度の小学生行事10ページにおいてですが、人気があり継続していく行事として、サーキット遊び、車椅子大会など、子どもたちがとても興味を持って参加していたので、これらを引き続き実施していく予定です。また、7月4日の「ぱたぱた競走」11月19、20日の「風船あそび」などは、普段家庭でもできる遊びなのであまり人気がなく、9月の「とんとんずもう」も来年度の行事から外し、来年度行事においては、7月の「プラ板で遊ぼう」、11月の「あみものをしよう」など普段では家庭でできない遊びを計画します。</p> <p>また、「新聞あそび」「ビーチボールバレー」など子どもたちが直接体験して楽しめる行事を予定しております。</p>
吉田委員	<p>個々の事業の説明ではなく、企画事業で良いものも悪いものもある中で、テーマパークならば人気の度合いで継続、廃止を決めるとは思いますけど、児童館はそれでいいのですか。例えば学校の授業でいうと、国語の授業が人気ないので減らし、英語の授業を増やそうかなんてしていいのですか。</p> <p>美和こども園では、親から人気のある行事でも子どもからするとしんどいという行事もあるが、子どもの育ちに何が大切かという観点から計画を立てている。だから、その計画についての評価が欲しい。</p>

	<p>例えば、健康に関しての分野はあまり人気がないけれど、これはやり続けなければならない事業だろうとか、子どもたちに家庭での経験が少ないからこうした事業が必要なのではないのか。人気がないならおもしろさを伝える方法を考えていくとか、そういった考えでいった方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>せっかく公営でやっているのだから、営利主義ではなく人がくるものばかりやるのではなく、人が集まりにくいものならば、そのおもしろさを伝えることを考えるのが課題ではないのですか。</p> <p>行事というものは、並べるのは必要かもしれないが、大事なのはそれぞれの事業でどこが大事なのか。子どもたちのこういう現状があるから、こういう事業を実施していきたいから具体的にはこれですというふうな形で事業計画を立て、事業報告も目指したものに対して実はどうだったかという報告をいただければ考え易い。個々の事業がこうだったというのではなく、こういった観点で事業報告、事業計画の書式を見直しして欲しい。行事でこんなことをしているというのを知りたいのではなく、こういった方針で児童館はやっている、やっていきたいということを知りたい。以上です。</p>
堀江副委員長	<p>吉田委員から貴重な意見が出ましたので、本当に児童館の運営にどういったことが必要かを捉えていただいて、評価し課題も次に繋げていくという手順のところを明確にしていくと、児童館そのものがもっと良くなっていくと思います。</p>
事務局 (主幹)	<p>長澤・吉田両委員の意見を賜りまして、児童館の目標などを柱に据えて事業計画を練り直したいと考えております。</p>
堀江副委員長	<p>それを見えるように、分かるように資料を作成していただきたい。全く新しいものにすることはなく、現行のものに着眼点をはっきりさせ、それに対して評価をし、課題を見つけて次に繋げていくという方向で検討してください。</p>
事務局 (主幹)	<p>資料の形態、書式については、ご意見を踏まえて検討させていただきます。</p>

堀江副委員長	<p>また来年も同じ意見の無いようお願いします。</p> <p>続いて、(2)「令和2年度 事業計画(案)について」を議題と致します。事務局から説明を、お願いします。</p>
事務局 (各館長)	<p>七宝児童館「令和2年度 事業計画」について、説明。</p> <p>美和児童館「令和2年度 事業計画」について、説明。</p> <p>甚目寺中央児童館「令和2年度 事業計画」について、説明。</p> <p>甚目寺南児童館「令和2年度 事業計画」について、説明。</p> <p>甚目寺北児童館「令和2年度 事業計画」について、説明。</p> <p>甚目寺西児童館「令和2年度 事業計画」について、説明。</p>
堀江副委員長	<p>ただ今、事務局より説明が有りましたが、何かご質問ございますか。</p> <p>見直しがあつて新しい事業がある。行事の羅列ではなく、前やっていてやめた行事、また新しく入れた行事、それぞれの行事のポイント、着眼点、目標等を明確にし次回計画を立てていただくと分かり易いと思います。</p>
事務局 (主幹)	<p>もう少し分かり易い資料を作成します。</p>
長澤委員	<p>来年、あま市が誘致した全国中学生相撲大会ですが、8月の中旬くらいに開催されるにあたり、児童館でもこの事業にちなんで何か行事を計画してはどうでしょうか。</p> <p>また、小学校においてもプログラミング教育を実施するという事で、こちらにおいてもなにか企画を考えていただけるといいと思います。もう一つは、児童館の活動として親子の行事と親の交流会でどういったことやっているのか、この事業計画(案)では分からないので、もし親の交流会があるのであれば、それは何か教えてください。あと、午後において学校帰りの児童が中心になると思うのですが、午前と午後の活動の違いを教えてください。</p>
堀江副委員長	<p>長澤委員の意見に対して、事務局お願いします。</p>
事務局 (主幹)	<p>来年の相撲大会についてですが、市教育委員会から内容を聞いて児童館でそういった機会があれば計画していきたいと思いま</p>

	<p>す。</p> <p>プログラミング教育に関しては、情報があまりこちらにありませんので、情報収集の方に努めます。</p> <p>午前・午後の事業についてですが、厚生員の方から説明させていただきます。</p>
事務局 (加藤厚生員)	<p>親子での交流は、「ちびっ子あつまれ」あるいは「コアラ教室」などの行事で交流があります。こういったところで、ママ友などの関係が築ける機会と思っております。</p> <p>中央児童館は総合福祉会館の中にありますので、健診などのついでに親子で立ち寄られ、それが交流のきっかけになったりしています。</p>
事務局 (水野厚生員)	<p>加藤厚生員の話に付け加えますと、それ以外にも開館時間においてお悩み相談などもしております。</p>
長澤委員	<p>それに関して、子育て相談室などあるのですか。</p>
事務局 (水野厚生員)	<p>特別そういった部屋はありませんが、第三者にきかれないように空いたスペースで個別に悩み相談を受けています。</p>
長澤委員	<p>講師などを呼んで講演をしたりしないのですか</p>
事務局 (水野厚生員)	<p>現在は、そういったことはしておりません。</p>
長澤委員	<p>分かりました。</p>
堀江副委員長	<p>それでは議事の方、進めていきます。</p>
石村委員	<p>事業計画（案）についてですが、各委員のご指摘にもあったとおり、単に行事を並べるというだけでなく、それがどんな観点のものなのか、母子の交流のものなのか、保健安全のものなのか、体験のものなのか、保護者が体験するものなのか、などの観点到に分けることができると思いますが、行事を計画するうえで観点が明確ですと一年を通した行事の分析もしやすくなり、新しい事業</p>

<p>事務局 (主幹)</p>	<p>を展開するうえでも計画を立てやすくなります。</p> <p>学校においては、国の法令で学校評価をしなければならないので、保護者、生徒、職員、三者が同じ項目で評価を行っております。そして、学校運営協議会で外部の人の指導を仰ぎながら、学校運営について具体的にその評価に基づいてやっている。</p> <p>そして、それらを可視化するための手当として、観点を加えると見えてくるのではないかと思います。</p> <p>貴重な意見ありがとうございます。</p>
<p>堀江副委員長</p>	<p>学校の観点として、授業の単元別になっていると思いますが、それらを参考にさせていただいてどんな観点を作ったらよいか、手始めにやっていただきたいと思います。</p>
<p>石村委員</p>	<p>あと、行事において好評とありますが、何をもって決めているのですか。アンケートなどとしてはいかがですか。例えばホワイトボードにマグネットなどを使ってのアンケートなどはどうでしょうか。何をもちょうか。何をもちょうか、楽しくなかったか、評価を視認化できるしくみを考えてください。</p>
<p>堀江副委員長</p>	<p>いい提案をいただきましたので、子どもたちや親御さんの思いをアンケートなどで工夫してとっていただけると、課題もはっきりしてくると思います。</p> <p>それでは、次に進めます。</p> <p>それでは(3)のその他について、事務局説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (深見館長)</p>	<p>令和元年度 あま市児童館利用者状況について説明</p>
<p>堀江副委員長</p>	<p>ただ今、事務局より報告がありましたが、何かご質問ございませんでしょうか。</p> <p>特にご質問も無いようですので、本日、事務局より、提案された議題は、全て終了致しました。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、ご参集賜わりまして有り難うございました。</p>

	<p>これもちまして、あま市児童館運営委員会を閉じさせていただきます。ご協力、有り難うございました。</p>
--	--